



保健だより

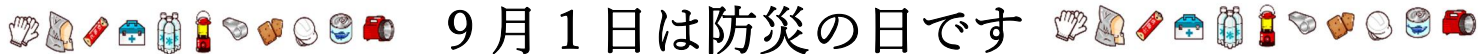
9月号



看護師

長谷川 有里子

金丸 知世



9月1日は防災の日です

防災の日とは1923年(大正12年)9月1日(土)に発生した関東大震災にちなんだもので、関東大震災の教訓を忘れない、という意味と、この時期に多い台風への心構えという意味を含めて、1960年(昭和35年)に、内閣閣僚了解により制定されました。防災の日および防災週間では、各地で災害についての認識を深めるための防災フェアや防災訓練などが予定されています。また、ご家庭でももしもの時に備えて防災グッズの準備・点検や避難場所の確認などをおこなっておきましょう。防災グッズとして、非常持ち出し袋を準備されているご家庭が多いと思います。災害が起き、救援物資が届くまでに3日程度かかると言われています。最低でも3日分の食料は備蓄しておきましょう。

防災セットの中身をチェック!



※赤ちゃんがいるご家庭では、おむつや哺乳瓶、粉ミルク、おしりふきなども準備しましょう。携帯式の手回し充電器や発電機などを準備しているご家庭もあります。災害をイメージし、あったら便利だなと思われるものを準備しておくといよいでしょう。

8月の感染症情報(～8月27日)		
とびひ	0・3歳児	各1名
ヘルパンギーナ	0歳児	2名
手足口病	2歳児	2名
咽頭結膜熱	0・1歳児	各1名
胃腸炎	0歳児	1名
RSウイルス	1・2歳児	各1名

※今季は2回手足口病にかかる園児が複数名いました。

9月頃より増える子どもの病気は・・・

例年、9月頃よりRSウイルスやマイコプラズマ肺炎、麻疹の罹患が増加してきます。RSウイルスは、RSウイルス感染による呼吸器感染症です。非常に感染力が強いのですが、2歳までにほぼ100%の子どもがかかると言われるほど、よくみられる疾患です。人生を通して再感染があり、何回も感染しますが、2回目からは症状などが重くならないこともわかっています。